

活動レポート

食産業研究委員会

文責：食産業研究委員会幹事長 小林一弥

平成 25 年度 活動状況 島牧村植樹会への参加

はじめに

食産業研究委員会では、平成 25 年度においても、継続的な活動として、討論形式の定例会、現地見学会などを予定しています。

加えて、本年度は技術士全国大会(札幌：10月3日～5日)において、「第3分科会(食)農山漁村における新たな食産業」の企画運営を担当しており、鋭意、準備をすすめているところです。

話題提供をしていただくシニアソムリエの阿部眞久さん、コーディネーターをしていただく北海道フードマイスター(元NHKレポーター)の木村光江さんは、過去に当研究委員会における定例会で講師をしていただいた方です。

ご両名とも、北海道の食をテーマに、地域と密着



シニアソムリエ 阿部 眞久氏の講演(H24.10.19)



北海道フードマイスター 木村 光江さん
意見交換の様子(H25.3.27)

した活動を展開されており、全国大会でも貴重な経験談や意見を披露していただけたと思います。

島牧村植樹会への参加(H25.6.4)

平成 25 年 6 月 4 日(火)午前 10 時～12 時に、当研究委員会とつながりの深い島牧村において、「森・川・海づくり」と題した植樹会が開催され、当研究委員会からは板垣技術士が参加しました。

植樹会は、島牧村宇賀老(旧賀老村・標高 459m)で行われ、その日は快晴。賀老高原には東狩場山(標高 1,319m)が白銀の山嶺をみせており、最高の植樹会となりました。

植樹会に先立ち、藤村克村長の挨拶、後志森林管理署長の挨拶があり、その後、後志森づくりセンター技師による正しい植樹の仕方についての指導をいただきました。



植樹の仕方～こうして植えるよ！

参加者は、約 40 名で、島牧村小学校 3 年生の参加が特徴的です。

植樹会場は、島牧村産業課によって、すでに雑草などが刈り払いされ、植え付け箇所には赤スプレーでマーキング済みとなっており、事前準備の苦勞が伺えます。この様な事前準備より、技術士としてサポートできることがあるかもしれないと感じました。

参加者は、植穴を自身で掘り、用意されたブナ・ミズナラの苗木を丁寧に植え付けていきます。

会場は、一昨年からの植樹場所に隣接しており、昨年、植えた苗木を確認してみると、ウサギに新芽を切り取られていたものもありました。

少し残念ですが、ブナやミズナラは多難な自然に立ち向かわなければならないようです。



植樹会の様子

植樹会のあとは、島牧村の元漁民センターにおいて「島牧を楽しむ会」主催の交流会に参加しました。島牧を楽しむ会の婦人達の手作り「炊き込みご飯・すり身汁」をいただきながらの会食交流会です。小

樽市、寿都町からの参加者もあり、話題は「島牧軽トラ市」、「島牧ふるさと便り」、「島牧の自然」…いろいろありましたが、やはり島牧村の振興にたどりつくようです。

村の議員も参加しておられ、農地の有効利用方策などについて話題になっていました。大学等の研究機関による施設利用、技術士会による産業指導での協力などの言葉をいただき、当研究委員会としても、これまでの繋がりを大切にし、継続的かつ無理のない協力関係を結んでいければ幸いです。

おわりに

食産業研究委員会では、平成 25 年度も「食」をテーマとした活動を展開いたします。

ここで紹介したとおり、本研究委員会は、役場や農業者などと、地域の方々と直接的・積極的に交流した活動を行っています。

技術士として、出来ることは何か？ということ…簡単な事ではありませんが、決してあきらめることなく、実践活動を継続したいと考えています。

なお、食産業研究委員会では、会員を随時募集しています。入会を希望される方、研究委員会に出席を希望される方は、日本技術士会北海道本部事務局まで連絡をいただければと思います。